

≡≡≡ 11支部のトップを切って ≡≡≡

10/20 館山支部定期大会ひらかる



「職場の主尊権をにぎり、職場から反響してゆくと」
5時間にわたり、白熱した討論で旧体制を築いていた。
(挨拶に立つのは、中江顧問)

『一人ひとりが活動 家』を合言葉に

現在、我々国鉄労働者に対し、政府及び国鉄当局は、第二臨調答申を受けて、職場規律の確立、労使関係の是正など緊急十一項目をもってする攻撃をしかけているなかで、五七・一ダイヤ「改正」をおこなってきている。

十月二十日（水）晴、我々館山支部は、これらをはね返すべく、第六回支部定期大会を開催した。羽山副支部長の開催宣言に始まり、川名支部長の挨拶、本部より来賓されました中江顧問、水野副委員長、労金館山支店長、地区労辻田氏等の挨拶の中で「内達一号の改悪、現場協議制度の改悪、五七・一ダイヤ「改正」等、国鉄労働運動の解体攻撃が激化し、とりわけ現協問題にあらわれているように極めて厳しいものがあります。五七・一ダイヤ「改正」については、将来に亘って我々の労働条件が決定される重要なものであります。又、国鉄二五万人体制を達成させ、職場の管理体制を確立し、力の関係を逆転させようとして、さらに大合理化攻撃をかけて来るだろう。

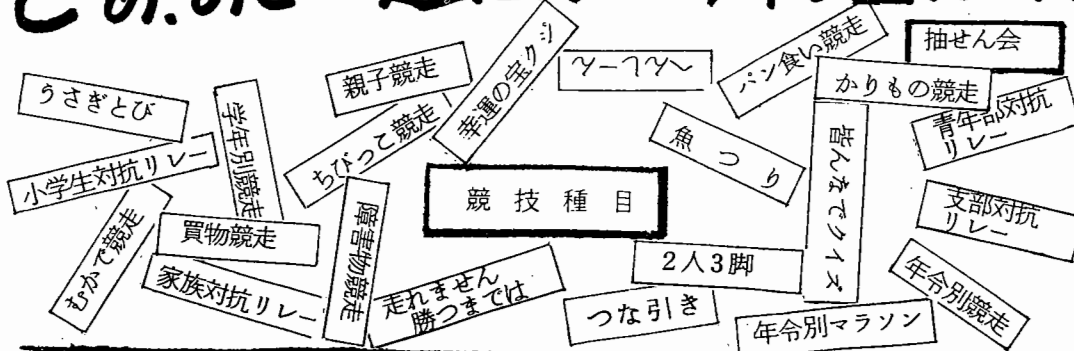
我々は、職場の主尊権をにぎり、職場から反響してゆく体制を築きあげなければならない」と力強い挨拶があった。

本部スローガンの中にあるように、「一人ひとりが活動家に」を合言葉として、論議は、五七・一ダイヤ「改正」の発言をかわきりに、五時間におよぶ論議が討論となって白熱化した中で、さらに団結して、いままでも取ってきた労働条件、職場の既得権を一步もゆずることなく守りきる体制の確立をしようと全員で確認し終了した。

支部通信員・登

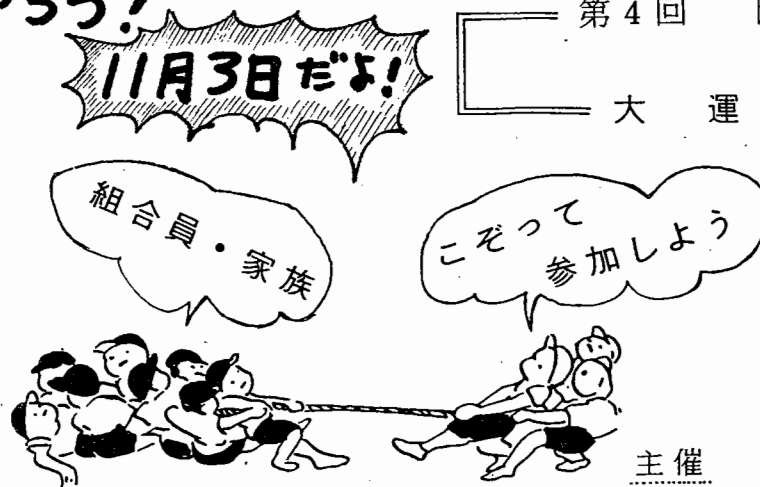
動労千葉十一支部のトップを切って、館山支部第六回定期大会が開催された。大会は、五時間にもおよぶ白熱した討論を通して、緊急十一項目をはじめとする国鉄労働運動解体攻撃の激化の中で、労働条件と職場の既得権を守りぬき反響の闘いに決起していく体制を確立することを確認した。

さあ、あと一週間！ 今年も盛大に、やろう！



とき…… 1982年11月3日（祭）、9時30分～
雨天の場合は、11月7日（日）

ところ…… 千葉鉄道学園グラウンド



主催
動労千葉サークル協議会

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

日刊
動労千葉

82.10.27

No. 1180

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五〇六・（公衆電話）22セニ〇七